

小・中学生～親世代へのアプローチ ～令和4年度の進捗、今後の計画～

【目標2】

➤ 教育局、教育委員会、学校（養護教諭、栄養教諭）、各町、保健所が連携を強化（情報共有、課題の明確化、取組の検討、実施）し、生活習慣改善（減塩）に向けた取組を一体的に推進することで、小・中学生～親世代に対する減塩の意識付け・行動変容へアプローチする。

【ステップ2（令和4年度4月～10月）】

計画	実績・進捗
1 管内における小・中学校に向けて行っている健康づくり事業の取組状況を把握するため、実態調査を実施する。	1 管内小中学校における実態調査の実施 (1) 時期：8月～10月 (2) 対象：江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町内の小学校・中学校の養護教諭及び栄養教諭、各町教育委員会
2 各関係機関（教育委員会、小中学校（養護教諭・栄養教諭）、各町、保健所）の中で、取組内容等に対する協議・検討会を実施する。	(3) 学校数：小学校12校 / 中学校6校 計18校 (4) 方法：聞き取りによる（対面及び電話）
3 学校における食塩摂取に関する調査（アンケート等）を実施し、食塩摂取状況及び減塩に対する意識レベルを把握する。	(5) 内容：・健康課題及び対策について ・食育実施の有無と内容について（減塩テーマの実施有無） ・今後の取組について（課題・意見等） (6) 結果：別添資料3-2のとおり

【ステップ2（令和4年度11月～3月）】

計画
1 小中学生へのアプローチ (1) 「減塩」に着目した食育計画（案）の検討・作成（11月～1月） ・対象：小学6年生及び中学3年生 ・検討メンバー：各町栄養教諭、各町行政栄養士、保健所行政栄養士（7名）を想定。 ・方法：対面及びZOOM等を活用した検討会議を開催する。 (2) 令和5年度に食育を実施する学校の検討（2月） ・食育計画（案）を各町養護教諭と共有し、令和5年度に既存の食育時間を活用し実施する学校を検討する。 ・令和5年度については、全学校とせずモデル的に数校のみの実施を想定。
2 親世代へのアプローチ (1) 家庭向けリーフレットの作成（11月～1月） ・対象：上記食育を実施した小学6年生及び中学3年生の保護者 ・内容：上記食育計画の内容を踏まえた「減塩」に着目したリーフレット等を作成する。 ・方法：上記食育計画と並行して作成する。 ・配付：食育実施後、児童・生徒を通じて家庭への配付を想定。

